日本のコミュニケーション様式を学ぶ上で、茶道の集大成である「茶事*」が最も優れていると考える株式会社ウップスが、世界を舞台に活躍する国際学会出席者、技術者、海外留学者の方を対象に、以下の内容を中心とした外交力強化プログラムを提供いたします。

■伝統文化の知識
　日本の伝統文化を学び、外交力の一助とする

■コミュニケーションスキル
　茶事の「客」となることを学び、外交センスを磨く

全２回で、総合芸術とも言われる「茶道」を始め、「香道」、「百人一首」、「能・狂言（解説）」、「世界から見た日本美術」をご紹介いたします。
２日連続でのご参加が難しい場合は、ご相談ください。

プログラム概要

福岡浩教授　清風荘にて

茶事

概論、歴史、哲学、茶事の流れについてご説明いたします。
１日目に薄茶の席入り、床拝見、着座を体得し、
２日目には、実際に茶事を体験していただきます。

香道、百人一首

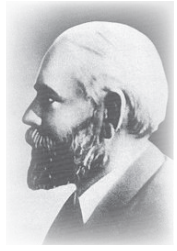
聞香および百人一首を体験していただきます。
百人一首かるた行事で知られる近江神宮にも立ち寄ります。

能・狂言

能・狂言の解説後に、能楽ホールの本格的な能舞台をご覧いただきます。

世界から見た日本美術

三井寺法明院に眠るアーネスト・フェノロサの研究に基づく、世界から見た日本美術に関する講義をお聴きいただきます。



東洋美術史家
アーネスト・フェノロサ